

報道関係者各位

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社

居住者の暮らしに彩りを添える、生花を販売

マンション共用部で「ロスフラワーマルシェ」を開催

～三井不動産レジデンシャルサービスと RIN が「花のある暮らしを文化に」という想いに共感し連携～

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：世古洋介）と株式会社 RIN（本社：東京都渋谷区、代表取締役：河島春佳）は、2022年4月20日よりトライアルで展開してきた「ロスフラワーマルシェ（Flower cycle marche）」ですが、開催物件にお住いの方々より「気軽にお花を買いに行けるのはとても嬉しい」「今後も定期的に開催して欲しい」「仕事帰りの楽しみです」など、多くの好評のお声をいただきまして 2023年度より正式に展開することといたしました。

《ロスフラワーマルシェ開催の様子》



■「ロスフラワーマルシェ」開催の背景

当社管理マンションにお住いの方へお部屋の中に花を飾るきっかけの場を作り、花を飾ることにより生活に彩りが与えられることがすまいと暮らしの質のアップデートに繋がると考えました。

更に日本の花き市場は、平成7年がピークで年々流通量が減少しており20年以上右肩下がりになっています。また、花の小売経費(ひとつの花を販売するための経費)は、廃棄が多いことも要因の一つとなっており5割という高い率を占めています(花束などへの加工代も含む)。花き需要拡大・花のある暮らしの定着化を目的に、様々な取り込みが必要とされていると考えました。

そこで、「すまいと暮らしの質のアップデート」を目指す当社と、「花のロスを減らし花のある生活を文化」の定着に取り組む株式会社 RIN は連携し、「ロスフラワーマルシェ（Flower cycle marche）」の仕組みを整えました。それぞれの役割として、当社はロスフラワーマルシェの開催場所選定および管理組合への開催提案を主として行い、株式会社 RIN は規格外や品質等には問題がないが、需要が少なく売れ残ってしまい廃棄されてしまう生花を市場からマンションへ配送し販売することを主として行っております。

今後も当社マンションにお住いの方の生活の質向上等に寄与する取り組みを展開すると共にと生花のロス削減に貢献してまいります。

【三井不動産グループの SDGs への貢献について】 https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。三井不動産グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における 1 つの目標に貢献しています。

目標 12 つくる責任・つかう責任



<お問い合わせ先>

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社 経営企画部 TEL : 03-3534-3160